

第449号 2011年7月1日

編集・発行
アカシア会

連絡先 アカシア会事務局
〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
広大附高アカシア会館
TEL & FAX 082-253-5581

次回は **通算 532回 例会**



左より：大方幸三幹事長(46回)、向井恒雄副会長(50回)、吉中康彦組織検討部会長(50回)、井藤壯太郎財政検討部会長(50回)、甲斐稔事務局長(63回)



学年幹事会(平成23年6月7日・母校1号館大会議室)関連記事は3頁

平成23年度 アカシア会総会

日時：平成23年7月15日(金)午後6時30分
※17日、18日は連休のため日程が通常と異なります。ご注意ください。
場所：アンデルセン(本通)
**平成22年度事業・決算報告、監査報告
平成23年度事業計画・予算案 他**

月例会 今後の予定

8月例会：8月17日(水)午後6時30分
場所：アンデルセン(本通)
講師：広島大学附属中・高等学校教諭 西原利典氏(73回)
新卒101回生の皆様無料ご招待。詳細は同封プリントで。

9月例会：9月17日(土)午後6時30分
場所：アンデルセン(本通)6階(食事は2階ビュッフェ)
講師：滋賀大学名誉教授、博士(教育学) 村上一三氏(旧教官)

10月例会：10月17日(月)午後6時30分
場所：アンデルセン(本通)
講師：広島経済大学学長 前川功一氏(52回)

11月例会：11月17日(木)午後6時30分
場所：アンデルセン(本通)
講師：広島地方裁判所判事 伊名波宏仁氏(66回)

12月例会：12月17日(土)午後6時30分
場所：アンデルセン(本通)「忘年会」
懇親会費は4,000円(80回以降の卒業生2,000円)
アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。
講師と演題は予定です。

ご予約ください

2011年10月9日発行
へ向けて現在作成中!

「業種別索引」「思い出の写真」も掲載しています。同封の払込取扱票でお申込みください。

2012年版
アカシア会
会員名簿

10月発行

定価 **3,600円**

7月末日までにお届けいただいているご住所が名簿に反映されますので変更のある方はお早めにお知らせください。

☎01300-4-13111 「アカシア会」

第7回 原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い

日時：8月6日(土)午前9時から
場所：広大学附属高校内「原爆死没者・戦没者慰霊碑」前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが参列して慰霊式典をとり行います。
慰霊式の終了後9時45分から講堂にて「被爆体験を聞く会」を、当時、附中1年生だった久保田訓章氏(41回)(東照宮宮司)をお招きして開催します。多数ご参列ください。

Contents

総会・月例会案内、追悼の集い案内… 1	近畿アカシア会、東海アカシア会… 10
総会議事資料、常任幹事会報告… 2	職域・クラブだより、同期会だより… 11~13
昭和56年以前卒業生へのお祝い、学年幹事会報告… 3	アカシアライブラリー、会報編集委員会、計報… 14
アカシア探検隊 大藤俊行氏(63回)… 4・5	出てもらうてもええかいのお②、
アカシア夜話⑦ 山口信夫氏(33回)… 6・7	ピバ!アカシアカップル②③、
友誼の御園… 8	事務局だより… 15
いろいろアカシア情報、東京アカシア会… 9	6月例会レポート… 16

総会議事資料

平成22年度 アカシア会 収支計算書

自：平成22年4月1日～至：平成23年3月31日

会長 石井泰行 幹事長 大方幸三 会計幹事 畑 秀樹 熊野留美子

■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員維持会費	70,000	会報発行費	3,241,705
会員年会費	10,000	名簿発行費	3,701,143
会員運営会費	190,000	通信費	51,795
準会員入会費	0	電話料	58,612
新卒者維持会費	1,970,000	旅費交通費	398,840
新卒者入会金	985,000	会議費	326,778
名簿販売収入	1,616,400	人件費	1,999,930
広告料収入	3,910,000	事務用品費	146,487
預金利息	408	母校宛寄付金	70,000
アカシア基金運用益	134,882	手数料	25,365
寄付金収入	117,400	追悼の集い諸経費	45,880
雑収入	111,591	雑費	15,383
豊葦会事務費	120,000	器具備品費	1,848,230
その他の収入	0	維持費	63,000
基金売却益	0	その他の支出	41,013
		支出の部合計	12,034,161
収入の部合計	9,235,681	当年度剰余金	▲ 2,798,480
		合計	9,235,681

■剰余金の部

(単位：円)

前年度繰越額	1,085,914
当年度剰余金	-2,798,480
基金受入額	3,000,000
差引翌年度繰越額	1,287,434

■アカシア基金の部

(単位：円)

前年度繰越額	29,700,000
当年度受入額	0
基金支出金	-3,000,000
差引翌年度繰越額	26,700,000

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成23年5月9日 監事 高橋正光 監事 寒川起佳

■総会で審議予定の議案

◆平成22年度事業・決算報告

(1) 事業報告

- ・アカシア会報と名簿の発行
会報 平成22年 7月 12,000部
平成23年 1月 12,000部
名簿 平成22年10月 1,000部
- ・地域アカシア会の交流・連携強化
- ・その他

(2) 決算報告

(3) 監査報告

◆平成23年度事業計画・予算案

(1) 事業計画

- ・アカシア会報と名簿の発行
会報 平成23年 7月 12,000部
平成24年 1月 12,000部
名簿 平成23年10月 1,000部
 - ・地域アカシア会の交流・連携強化
- (2) 予算案(略)

常任幹事会報告

平成23年5月27日(金) 18時30分からアカシア会館にて常任幹事会が開催された。

石井泰行会長(43回)が開会に先立ち挨拶、退席された。当日の出席者について甲斐事務局長(63回)より、常任幹事43名、出席者20名、委任状20通で、会則第28条に従い会が成立するとの報告があった。

向井恒雄副会長(50回)の挨拶の後、以下について報告、審議した。

報告・依頼事項

1. 入会后30年経過会員への運営会費の徴収について

会の構造的赤字並びに世代間の不公平を解消し、財政を健全化するために、昨年の総会で会則改定の承認を得た。その後、実施するに至って各学年の幹事を6月7日に招集し、全学年に理解と協力を求めることとなった。

2. 東北アカシア会への義援金については、先方の受入体制が整い次第、送金する。
3. 8月6日(土)午前9時から原爆死没者及び戦没者の慰霊追悼の集いを開催する。

審議事項

1. 平成22年度事業報告・決算書(案) 原案のとおり承認
2. 平成23年度事業計画・予算書(案) 原案のとおり承認

協議事項

1. 今後の運営方針について
会員名簿記載の学年幹事を見直す。会の組織的基盤を充実させ、活性化、組織強化、財政の健全化を図る。
2. アカシア基金について
従来のアカシア基金のうち、アカシア会由来のものは「運営積立金」として分離するなど整理した。

〒733-0002
広島市西区楠木町2丁目4番3号
株式会社 立芝
代表取締役 向井 恒雄 (50回卒)
TEL 082-230-3711
FAX 082-237-7222



TATESHIBA

私たちは、映像音響・情報通信・電気などあらゆる分野で豊富な実績と最先端技術でその実現に取り組んでいます。

より良いアカシア会となるために、ご理解ご協力をお願いします。

入会后30年が経過している会員の皆様には、払込票を同封しておりますので、運営会費の納入をお願いします。

なぜ?

■平成12年度～19年度の1年間の平均的なデータ 毎年約100万円の赤字

収入 約900万円	入会金・会費 約300万円	名簿広告料 約300万円	名簿販売代・その他の収入 約300万円
支出 約1,000万円			

入会30年後に運営会費の納入が必要か?

◆ 会の財政は構造的赤字に苦しんでいます。

これまで会報で報告してきましたが、アカシア会の財政は毎年赤字を出している状況です。その根本的な原因は、平成3年(81回)以前の卒業生には、「卒業時に入会金1,000円、会費5,000円を納めれば以後の維持会費の納入は免除される」という会則が、今なお有効であることにあります。会員1人当たりにかかる年間経費は約500円(会報の印刷・郵送費、事務費、人件費など、会の運営に不可欠な費用の合計)で、6,000円は約12年間で使い果たされ、それ以降は赤字となるという構造的な問題を抱えています。

◆ 世代間での負担の不公平が生じています。

会の財政赤字を補填するため、平成4年と12年に入会金・会費の値上げが行われました。平成12年(90回)以降の卒業生は、現会則により「入会時(卒業時)に入会金5,000円、会費10,000円、入会后(卒業後)20年目に10,000円、合計25,000円を支払うこと」が義務づけられており、それ以前の世代より大きい負担がかかっています。

◆ 収入を名簿広告料に頼る不安定な状況にあります。

収入の内訳は、新入会員からの入会金・会費が約300万円、名簿広告料が約300万円、名簿販売代とその他の収入が約300万円となっています。確実に収入を確保できる入会金・会費の割合が少なく、不安定な名簿広告料に多くを頼っている現状は決して健全とは言えません。

◆ これらの問題を解決し、会の財政を健全化するために会則を改定しました。

事業の無駄を省き、経費を節約する努力を引き続き行っていきますが、財政のさまざまな問題を根本的に解決するためには、入会金・会費に関する会則を改定することが必要でした。入会后(卒業後)30年が経過している会員からも追加的に会費(運営会費)をいただく会則に改め、全会員の公平な負担によって財政が支えられ、会を安定的・持続的に運営できるしくみへと改善します。

払込票の送付について

昭和56年(71回)以前の卒業生から順次お届けしてまいります。

本会則改定が施行される平成23年度より、入会后30年目に当たる昭和56年(71回)の卒業生と、既に30年を経過している70回以前の卒業生を対象に、23年度内に会費請求書と払込票をお送りします。

その後、翌24年には72回生、25年には73回生…と順次お届けしてまいります。ご協力のほどよろしくお願いたします。

学年幹事会に出席して

久しぶりの母校は、多感な時期を過ごした頃と変わらぬ懐かしい面影の中に、わずかな変貌を遂げていた。階段の手すりの木の新しさや天井の白さに戸惑ったが、附属生の笑顔は昔と変わらないようだ。

6月7日(火)18時半より、1号館3階大会議室において、総勢49名のアカシア会常任幹事、委員、および学年幹事が集い、平成23年度学年幹事会が開催された。昨年7月アカシア会則の改

定が承認され、今年4月1日より施行された。(会則の改定内容については、平成23年1月発行のアカシア会報全国版でご確認ください。)それに伴うアカシア会運営会費の徴収をいかにスムーズに行うか、が本日の議題。

向井副会長(50回)の挨拶で始まり、大方幹事長(46回)による経緯説明、吉中組織検討部会長(50回)による組織の一部変更についての説明、井藤財政検討部会長(50回)による会費徴収方法と協力要請に関わる具体案などが提示された。

その後の活発な意見交換によって、アカシア会費の徴収と並行して取り組むべき経費の削減とその他の問題点、会報全国版を年2回会員のもとへ送付することによって9割の会員の所在が把握できているという事実、などが明らかとなった。

我々に続く若い世代に頼るのでなく、負担を公平化して、今後のアカシア会の発展を支えたいという先輩方の熱い思いが伝わるひとときの後、小雨の中、20時に散会となった。

松本 直美 (71回)

株式会社 融合事務所

代表取締役 宮崎 忠 (66回)

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和



木村 多江



高橋 かおり



<http://www.yougooffice.com/>

株式会社 融合事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-9-4 長谷川ビル4F TEL:03-3794-2404

アカシア探険隊

～MI・2011(夏)
新宿区市ヶ谷泉所潜入の巻～



63回 大藤 俊行氏
～オリックス生命保険(株) 社長～

= アカシア会館内CTUにて =

乙：先輩、久しぶりのコンビ復活ですが、なんかあるんですか？

甲：今回はちょっと訳ありでの。お前一人で行くわけにゃあいかんのよ。

乙：で、今回はどちらまで？

甲：市ヶ谷。

乙：えっ、イチガヤ！市ヶ谷といえば言わずと知れた、一大国家機関がある所じゃないですか！こりゃ～前の外務省潜入どころじゃないですね。今は震災対応で大忙しじゃし、それにだいたい先輩みたいな人相の悪いのは入れてくれませんかよ。

甲：今の台詞はそのままノシに包んで丁重にお前に返しちゃう。ちゃんと段取りはつけてあるけえ、これに書いてあるコードをお前のスマホに入力しとけ。今回は現地集合じゃ。ほいじゃあワシは先に行っとくで。

乙：あ、もう行ってしもうた……。何々、「コード」ってたいそうな。こうして「コード」を入力したら、最適ルートも教えてくれるし、ついでにチケットの手配もしてくれる。あら？集合場所は「ルノアール」。って喫茶店じゃん。防衛大臣に会うにしちゃあシケとるのう。

ア：何ブツブツ言ってるんですか？今回の取材は63回の方らしいですよ。

乙：はあ？？？何が「訳あり」や。同級生じゃないか。

ア：同級生の甲さんがいれば取材もし

やすいから、まあいいじゃないですか。

乙：まあそうじゃけど。



と云うことで、今回は63回卒オリックス生命保険(株)代表取締役社長(取材時は副社長)大藤俊行さんの登場です。大藤さんは東京大学法学部を卒業後大蔵省(現財務省)に入省され、橋本内閣、小泉内閣では内閣官房でも活躍されました。海外経験も豊富で、関税局長を最後に退官。2011年1月よりオリックス生命保険(株)に入社され、現在は社長に就任されております。



乙：本日は大変にお忙しいところ、お時間をいただき有難うございます。

大：久しぶりに同級生にも会えてうれしいよ。

甲：何年ぶりかのう。元気そうじゃん。

大：ホンマ何年ぶりかのう。
.....

乙：あのう、取材させてもらっていいでしょうか？

甲：お～ワリイ悪い。取材して。

乙：まずは附属時代の思い出あたりからお聞かせ願えますか？

大：私は中学校から附属にお世話になりましたが、やっぱり自然のなかで過ごした室積の臨海学校や道後山の林間学校が思い出されますね。そして友達同士で行った江の川のキャンプも。臨海学校では中一で4km、高一で8km泳がされたけど、ほとんどみんな完泳してましたね。それから印象深いのは通学時の事ですね。五日市から広電でトロトロ通っていたんだけど、宮島線仲間の河村君らと熱く日本の将来などについて語るとともに、芸能界のことなんかをだらだらとしゃべったりもしていました。当時は電車でのマナーがみな良く、混んでくれば席を詰めるのは



P r o f i l e

昭和29年7月5日広島市皆実町生まれ、昭和48年3月広島大学附属高校卒業、52年東京大学法学部卒業、同年4月大蔵省入省、57年龍野税務署長、平成5年日本輸出入銀行海外投資研究所主任研究員(ロンドン)、7年6月人事院給与局給与第二課長、9年4月行政改革会議事務局参事官、10年7月主計局主計官(地方財政、大蔵担当)、13年7月金融庁総務企画局信用課長、14年7月同局企画課長、15年7月同局総務課長、17年8月同局審議官(監督局担当)、17年12月内閣官房内閣審議官兼行政改革推進事務局特殊法人等改革推進室長、19年7月金融庁総務企画局総括審議官、21年7月財務省関税局長、21年7月関税局長、22年7月関税局退官、同年10月オリックス(株)顧問、23年1月オリックス生命保険(株)取締役副社長、同年7月代表取締役社長就任

当然のことだったし、荷物を持って立っていたら他校の女子高生が「荷物持ちましようか？」なんて声かけてくれたることも度々あって、うれしく思ったことを覚えています。

乙：部活は何かやられていたんですか？

大：当時「柔道一直線」っていうテレビが流行っていて、柔道やったんだけど、すぐにやめてしまいました。それから背を伸ばそうとバスケットもしたけど定着しなかったなあ。甲君は卓球だったよね？強かったよなあ。

甲：いやあ、そうでもなかったよ。
.....

乙：あのう、取材を続けてさせてもらっていいでしょうか？

大：まあ、当時は附属といえばサッカーだったからね。2年上の古田



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

振りだそう、自然の力。
Calbee

さん(61回)とか同級の白井君や沢井君(63回)なんか印象に残っていますねえ。それから福原先生の事も。ほんと附属のサッカーを強くした先生ですよ。それからやっぱり体育祭かな。

楽しかったねえ。1年生の時に騎馬戦だったと思うけど2年生が私の腕に咬みついてきてねえ。当時は殴ったり、蹴ったり何でもありだったんだけれど「咬みつき」は無いだろうと思って後で中本先生に言ったら、「お前の腕がおいしそうじゃったんじゃろう」と言われてね。今でも強烈に覚えています。とにかくスポーツでも勉強でも芸術でも、何でも自由に思いっきりさせてくれる学校だったなあ。

乙：卒業後は上京され、大学卒業後は大蔵省で活躍されたわけですが、どのような学生時代、社会人時代を送られたのでしょうか？

大：大学時代はこれと言ったエピソードはないけど、高校在学時代から公にかかわる仕事をしたいという気持ちをはっきりしていたから、その目標に向かって頑張りましたね。

乙：大学卒業後は大蔵省に入られた訳ですが、どのような事が印象に残っておられますか？

大：マニュアルだらけのような印象を持たれているかもしれないけど、そんな事はなくて、答えが無いというか、答えを創造しなければならぬ世界だったなあと思います。具体的には橋本内閣で、いわゆる「橋本行革」の仕事をしたときに感じましたね。各省庁や民間から俊秀が集まってきてプロジェクトチームのような中で仕事をしましたが、その中でそれを強く感じましたね。

ところが最近感じていることなんです。財務省に入ってくるような世間では優秀といわれる人たちでさえ創造力に欠ける傾向にあるのではないかと思います。社会全体もそういう傾向にあるように思

いますが、近年の詰め込み型教育の弊害がでているのではないのでしょうか。小さい時から、受験対策として問題を解くテクニックばかり詰め込まれているうちに、大切な創造力を失ってしまっているような気がしています。

翻って、自分が附属で受けた教育を思い出すと、そういう事とは対極にあったように思います。目先の成績にとらわれる事無く根本原理をじっくりと教えていただいたことが、今日、大いに役立っているんじゃないでしょうか。

乙：海外生活は如何でしたか？

大：イギリスで生活しましたが、そこでの経験も貴重ですね。特に今回の震災が起こって感じるけど、ヨーロッパでは歴史的な背景もあって、考えたくないような事象であっても「もし起こったら」と考えてきちんと議論します。でも日本ではタブー視してしまう傾向があって、ある意味日本文化の弱点かもしれませんね。ドイツの車なんか見てもわかるけど、必ず金槌や救急セットが装備されている。日本では性能が良いからそんなものが必要になる事はありません、みたいな考え方が優先してしまっていますよね。本当は考えておかなければならないんだけど、先送りしている面もある。

乙：アカシアのメンバーに対するメッセージをお願いしますか。

大：これまでは急な公務というような事もあり、失礼することが多かったのですが、これからは立場も変わりましたので、宜しくお願い致します。今日も東京アカシア会の懇親会に出席させて頂くつもりです。

乙：現役生徒諸君へのメッセージをお願いします。

大：自分自身で何をしたいかできるだけ早く見つけて欲しいですね。これはなかなか簡単じゃないけれ



左から 大藤俊行氏(63回)、甲斐 稔(63回)

ど、まずは今取り組んでいる事、勉強でもクラブでも何でもいいですから、とにかく真摯に取り組むことですね。それが見つけるきっかけになると思うから。それから私自身の反省も込めてだけれど、国際感覚を身に付けて欲しいですね。別に海外に行けという意味ではありません。英語を一生懸命勉強するだけでも良いかもしれません。そうして行くうちに、社会に出て自分は何をしたいのか、何をすべきか、が見えてくると思うんです。そうすれば自然とどの大学に行けばよいかもわかってくるでしょう。それを見つけないと、「〇〇大学に合格する」という目標がゴールになってしまいます。そうになってしまうと本当の附属の良さが失われてしまうでしょう。そうならないよう、現役の皆さんも、本当の附属の良さを守って欲しいと思います。

乙：本日はお忙しいところ、有難うございました。



かつては、村上孝太郎さん(25回)、田中敬さん(32回)と二人の大蔵次官をはじめ、多くの大蔵官僚を輩出しましたが、66回生の入省以降は財務省への入省がありません。官僚叩きが流行る昨今ですが、後に続いて、志高く公に尽くそうという人材の登場を待望いたします。

甲：甲斐 稔 (63回)

乙：谷口 公啓(73回)

新卒生(101回生)8月例会無料ご招待

夏休みで里帰り中の皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加ください。要申込み、別紙プリントをご覧ください。

日時：8月17日(水) 18時30分～20時30分

場所：広島アンデルセン(本通)

内容：「附属の今と昔を繋ぐもの」

講師：附属中・高教諭 西原利典先生(73)

アカシア会にも住所変更届を！

住所変更されましたら、すぐにアカシア会事務局に新住所をお知らせください。会報は1月と7月の年2回ヤマトメール便で発送しています。会報が届かなくなりましたら、至急アカシア会HP住所変更届等でアカシア会事務局までご連絡をお願いします。

※郵便局への転居届では転送できませんのでご注意ください。

※7月末までに登録されているご住所を10月発行新名簿に掲載させていただきます。

アカシア夜話 アカシアンナイト 第7話



山口信夫先輩を追悼して

平成22年9月14日、前日本商工会議所会頭の山口信夫先輩(33回)が心不全のため逝去されました。山口先輩は母校卒業後、陸軍予科士官学校を経て陸軍士官学校に進まれ、昭和20年(1945年)6月に同校を首席で卒業、少尉として平壤に赴任後すぐに終戦を迎え、タタール共和国での抑留生活を経験されました。昭和23年(1948年)8月に帰国後、東京商科大学(現一橋大学)に進まれ、昭和27年(1952年)旭化成工業(株)に入社。旭化成中興の祖と言われた宮崎輝社長のもとで、秘書室長、総務部長を歴任された後、住宅事業の推進のため住宅事業部長、旭化成ホームズ(株)や旭化成建材(株)の社長などを歴任されました。昭和56年(1981年)6月に旭化成工業(株)代表取締役副社長、平成4年(1992年)4月に同社代表取締役会長に就任。平成13年(2001年)7月、日本商工会議所会頭に推挙され、アカシア会員として永野重雄さん(9回)に次ぐ二人目の会頭として、平成19年(2007年)11月の名誉会頭就任まで6年あまりの間、日本経済界の牽引に当たられました。



平成20年2月25日
旭化成応接室にて

追悼座談会

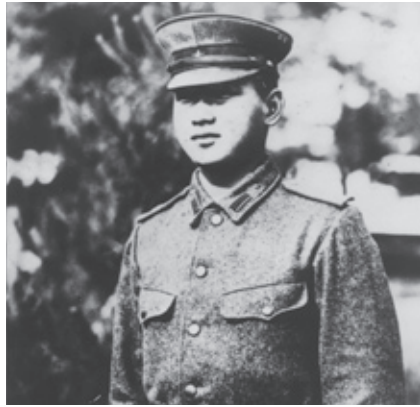
山口先輩の偉業を振り返るため、石井泰行(43回)アカシア会会長(賀茂鶴酒造(株)代表取締役会長)と児玉幸治(43回)前東京アカシア会会長(元通産省事務次官)のお二人で、山口先輩に因むエピソードを語っていただきました。

○陸軍士官学校～シベリア抑留

児玉：山口さんは附属中学の5年生から士官学校に行かれたわけだよな。普通は幼年学校から、要するにプロの軍人が上になっていくのだよ。それなのに横のほうから出てきたトウシロウがね、士官学校へ入ってきて首席になった訳だから、プロのほうから見ると



広島高師附中時代(昭和15年頃)下が山口氏



陸軍士官学校卒業前 昭和20年

ね、抵抗感はある。あるけれども、やっぱり首席は首席だろう。そして、そういう事に対する敬意というのは、軍隊だからずっとある訳だから。それで卒業後平壤に任官して、それから一度帰ってきて陸軍大学に入られた。陸軍大学で勉強して、これもまた優秀な成績だったはずだよ。そして、原隊復帰というので平壤に帰ったら間もなく終戦になった。

石井：終戦になってシベリアに連れて行かれちゃった。児玉：山口さんは、シベリアに抑留された時、同じ所に相沢さん(相沢英之・元大蔵省事務次官、元衆議院議員)がいて、お互いに励ましあって、がんばって生き延びて帰ってきたという仲だった。石：それが縁だったと言われてたよね。けれどもね、それほど向こうはその時のことを思っちゃいないと思うよ。山口さんはそう思ってるけど。児玉：そうでしょう。それが山口さんらしいんだよ。石：そう、山口さんらしい。児玉：でもね、山口さんが亡くなって、すぐ知らせがあったから、世田谷の自宅に弔問に行っただけけれども。そしたら相沢さんが弔問をすませて出てきたよ、玄関口に。まだほとんど誰も行ってない時に、相沢さんがちゃんと来ておられた。石：そうか。だからやっぱり連絡は密だったんですね。



東京商科大(現一橋大)
3年生

○秘書時代～燦々会

児玉：山口さんが宮崎輝というすごい実績を残したワンマン社長がいた時に、秘書をやっておられた。その頃、宮崎さんと渡辺恒雄さん(読売新聞グループ本社代表取締役会長)は、しばしば宴席をともにしてたようだけど。そうすると必ずその傍らに山口さんが秘書でついてくる。

渡辺さんから聞いた話だと、宮崎さんのようなワンマン社長の秘書は、1年か2年やると、皆勘弁してくれということであまり働かない。さもないと宮崎さんとウマが合わなくなって、お前はもう交代。こうなるのに、いつまでもこの2人の関係というのは続いていてね。それをずっと渡辺さんが見ていたわけよね。それで、これは宮崎輝が我慢して山口さんを使うことはありえないわけよ。だから山口さんが、きちんと宮崎さんのことをよく読んだ上で対応して、長年この2人のタッグマッチが成立したんだ。山口というのはすごい男だし、いい奴だよ。こうなってるものだから、渡辺恒雄さんと、山口信夫さんの関係は、ものすごく太い絆ができてますね。それがあったから、平岩さん(平岩外四・元経済団体連合会会長)がリタイアされた後は、燦々会(巨人軍を応援する財界人の会)会長は山口さん以外にはいないという事になったんですよ。

○総務部～住宅事業

石：山口さんは、全く総務部育ちでしょう。唯一やられたのは住宅事業があるんですね。児玉：そう、ヘーベルハウスね。旭化成というのは、それまでは肥料とか、普通の石油化学製品とか、それからサララップとか、家庭用のいろんな化学製品だよ。そんなのをやってたところへ、住宅をやるんじゃないかということになって、宮崎さんからの指示だと思うんだが、「山口、お前やれ」ということになった。今まで経験したこともない分野を山口さんが手がけて、それをかなり大きな収益部門に育て上げたんだよね。苦労がものすごく多かったということをおっしゃってたよ。

石：多かつたろうね。そう思うよ。児玉：家っていうのはね、やっぱり大変だからね。いろんなクレームが来るしね。ケミカル会社がやるとなるとね。今やもう確立したと思うけど。石：大きい部門になってるね。児玉：非常に大きな部門の一つになってる。ケミカルと住宅部門と、それから医療だね。腎臓の透析に使う器具とか薬とか、そういったものもやるから。まあ腎臓も、人工腎臓でもできるようになれば、変わるだろうけど、今のところは本当に透析をしないと生きていけない人が非常にたくさんいるわけだから。いずれにしても、まだ大所高所からいろいろ働いてもらいたかった人だったと思うんですよ。もったいないことだったなと思いますね。石：それは宮崎輝さんが元気な頃から、一歩引いて下へ仕えているから、意外と全部見通せる立場にいたからこそだろうね、山口さんは。特殊なところへおられた感じですよ、そういう面ではね。

○気遣いの人

石：確か、ホテルオークラのちょっと裏側のところへ、旭化成の寮があったんですよ。そこはずっとうちの酒を使っていたわけよ。そしたら山口さんがある日ある時、電話かけて来てね。「石井、あれなあ、悪いけど、うち」って言うから、「ああ、わかりました」って言ったんだよね。というのは、旭化成の傘下に富久娘酒造が入った。それで富久娘が入った以上、富久娘を使わないといけんから「いいかなあ」と言うから、そりゃあ当然ですわ言うて。うちは手を引かしてもらいますと言ってね。それで、港区の酒屋から納めてたのが、そこらへんも説明して。こういう訳だから、旭化成から注文があったら富久娘を持って行ってくれよと。だけどそういうことを、細かいところまでけっこう配慮するというか、心配りをする人だよ。普通だったら、しゃあせんよ、そんなことをね。第一、うちが入るとるか入っとらんかも、わかりゃあせん。児：普通ならね。石：だけけどそういうことを、まあ恐らく入っとるというのはわからななだかも知らんけれども、「おい、酒何使うとるんだ」と言って、「おお、賀茂鶴か。それじゃあ、ちょっと断っとくから、富久娘を使え」言うて。東洋醸造と富久娘があそこの傘下に入ったからね。そういうところの心遣いというのは、細かい人だったよ。

○人柄に基づく経営の神髄

石：しかも我慢強いんだから。叩かれても強い人だし。だから社長でなくて会長へ行った訳だよ。副社長にはなったと思うけど。児：そう、副社長はもちろんやった。石：社長にはならなんだ。あの人ね。児：うん。旭化成ってのはね、私はまた縁があって、山口さんが会長であり商工会議所の会頭だった時に、3年前かな、社外取締役になされた。それで取締役会に出て、山口さんの、その会のコントロールの仕方なんか、最低月に1回は行って、間近に見てたんですけどね。宮崎流とは全く違うんです。石：違うよね。児：非常にフワーンと包み込んでいくのだけれども、絶対に筋は外さない。それから何かあっても、相手を納

得させるんだよね。もし意見が違った場合でもね。結局いろいろ話をしながら、最後は「やっぱり山口さんのおっしゃる通りですな」というところを持って行って、物事を決めていくという。そういうタイプだったですね。

児：今思うと、自分で天命を悟っておられたのかとも思うのだけれども。自分が会長もやりながら、会議所の会頭になっているわけでしょう。会頭を引いた後は、やっぱり一区切りだと思われたのだろうね。去年の6月末に、自ら会長を引いて名誉会長になられた。

新しい会長、社長の体制というのをいろいろ考えた末、新しい布陣を去年の6月の株主総会に提案して、決められた。それで9月には亡くなられたのですか



平成19年5月、旭日大綬章受章、奥様と

ら。だから、ずっといろいろなことを考えて、社内も円満に行くような人事体制を組まれた。しかも年齢的にはかなり若がえってるしね。大したものですよ。

会議所も終わり、会社のほうも新しい



左から児玉幸治氏(43回)、石井泰行氏(43回)

将来の布石を打って、そこで言うなれば大往生だったのでしょうか、今更ながらやっぱりすごい人だなという気がします。*****かつて山口さんにインタビューに伺った時の柔和なまなざしを思い出しながら編集しました。

文責・編集：甲斐 稔(63回)

編集補：河本良子(63回)

「信頼できる人」をめざして欲しい
私が社会に出てからすでに長い年月が過ぎ、その間、いろいろな経験を重ね、多くの苦労も味わいました。そこで今、回は、人生の先輩になれば、特に若い社員の一歩を逃げてみます。
一つは、真の友人を持つ人は幸せである、ということ。後事を託せるような親友が一人でもいたら、そんな素晴らしいことはないと思います。そのためにも、自分も相手にとって良い友人でなければなりません。
友人関係について、私はいつも「人にしてあげたことは十分に考え、人にしてもらったことは倍に考える」という人生を送りたいと心がけています。そうすれば良い人間関係が築けると信じているからです。
そしてその前提になるのが、お互いに相手が「信頼できる人」であるかどうかということ。私は、人の評価の中で「信頼できる人」という評価をとても大事に考え、自分自身もそのような評価を得たいと、若い頃から努力をしてきました。
友人などからものを頼まれ、約束をして引き受けてはみたけれども、いざ実行してみるとなかなか難しい、ということがあります。大半は普通の努力をしますが、時には多くの時間を費やし、苦労して頼んだあげく、結果として相手の希望に添えない場合があります。相手からは「約束をしたのに何でやってくれないのか」「他の人に頼めばよかった」といふような苦しい時にも、言い訳をしないで我慢をして最善を尽くし、友情を守っていくことが大切だと思っています。どんなに努力をしてもなお達成できない場合でも、努力をする姿勢を貫いていけば、見る人は見ていてくれるもので、おのずからその人の人間性が決まってくる。
「あの人は引き受けたらとことんやってくれる。時には失敗することもあるかも知れないが、彼のことだから最大限の努力をしてくれたに違いない。彼がやってダメだったのだから仕方ない」と言われるような人、それが「信頼できる人」です。そのような人になりたいというのが私の人生の目標ですが、まだまだ半ばです。(山口)

旭化成グループ社内報2000年6月号掲載記事「山口さんの部屋」より
旭化成株様のご厚意によりお写真4枚と、「山口さんの部屋」の記事を追悼集より転載させていただきました。

合唱班 第5回 定期演奏会
日時：2011年8月7日(日)
開場：14:30 開演：15:00
場所：広島大学附属中・高等学校講堂
曲目：生徒ステージ：パルドシエ作曲「リベラ・メ」、[証]、[聞こえる]他
OBステージ：「六つの子守歌」他
生徒・OB合同ステージ：フォーレ作曲「レクイエム」

管弦楽班 第35回 定期演奏会
日時：2011年8月7日(日) 開場：16:30 開演：17:00
場所：フェニックスホール(平和公園内)
予定演目：
ドヴォルザーク：交響曲第8番ト長調全曲、ドリーブ：バレエ組曲「 Coppelia」より「序奏とマズルカ」、ハチャトリアン：組曲「仮面舞踏会」より抜粋、その他
※駐車場に限りがございます。出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

♪ 皆様、是非お越し下さい！ ♪ <入場無料>

友誼の御園 ～母校日より～



新学校長に就任して

学校長 古賀 一博

全国のアカシア会員の皆様、はじめまして、古賀一博と申します。昨年1年間は隣の附属小学校長を務めておりましたが、前田健一前校長の後任として平成23年4月1日付で附属中・高等学校長に異動してまいりました。広島大学では教育学講座に所属しており、専門分野は教育行政学、教育制度学です。特に、教育内容行政や教員人事評価制度などを中心にこれまで研究してまいりました。アカシア会員の皆様には、平素から本校の教育諸活動に対しまして多大のご支援・ご協力を頂戴しており、衷心より御礼申

上げます。本校における積年の課題の一つでありました「3号館改修」も、どうか予算的にめどが立ち、本年度中に着手・完了しそうです。ただ、東日本大震災の影響もあって、当初の予定より工期が遅れ気味なことが心配ではありますが、いずれにせよ、耐震補強とともにリニューアルした新校舎での新たな学校生活を生徒諸君とともに過ごせることを今から楽しみにしているところで。少子化のあおりと国家予算の切迫状況の中で、本校もその生き残りをかけて真剣に経営努力が求められてきてお

ります。本校着任直後に新校長としての学校経営方針を教職員へ提示いたしました。その内容を集約的に表現いたしますと、「攻めの学校運営」と表現できるのではないのでしょうか。すなわち、伝統にあぐらをかいて日々を暮らすような姿勢ではなく、伝統の「創造的継承」を深く自覚するとともに、「利他的精神」を涵養して「率先垂範」する国立大学附属学校となることを究極的な目標としております。

本校のすばらしい歴史と伝統、実績に恥じぬよう、私自身も微力ではありますが学校長として精勤する覚悟でありますので、アカシア会員の皆様におかれましては、本校運営に旧倍にも増してご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

高Ⅲ修学旅行 5月9日(月)～12日(木)

中国コースと北海道コースの2班に分かれて行いました。本来は高Ⅱの秋に実施予定でしたが、国際情勢等を鑑みて延期となりました。高Ⅲでの修学旅行は1957年以来、実に54年ぶりです。戦前には満州韓国旅行、現在も海外研修が実施されていますが、修学旅行として目的地を海外に設定したのは初めてといえます。

中国では故宮、万里の長城などの世界遺産を巡り、北京師範大学第二附属中学校（日本の高校に相当）との交流会も実現しました。同世代との交流は大きな刺激になったようです。

北海道では自然体験学習、旭山動物園見学、小樽や札幌でのグループ研修など日常を離れて貴重な体験を満喫してきました。



自分の目で見た北京の街の様子や出会った人々は私の先入観をがらりと変えた。空港から移動するバスの中で見た、華やかに光り輝く高層ビル群には日本をしのぐような勢いがあり、広大な土地に広がるさまざまな観光スポットからは写真では伝わらない迫力を感じ、圧倒的な存在感と、悠久の歴史がひしひしと伝わってきた。北京大学でいろいろな話をしてくださった大学院生の方は思わず憧れてしまうような魅力的な人だったし、交流した高校生は英語がペラペラだけでなく、日本のエンターテイメントについて日本語で話してくれ、とても驚かされた。6年も勉強するのに、話したいことがすぐに英語で出てこない自分にもどかしさも感じたが、いろいろな人たちに助けられて、とても有意義な研修になった。やはり言葉はすごく大切なんだと痛感し、今度は自分が手助けして相手に楽しかったなと思ってもらえるように、一生懸命勉強しなくてはと思った。

神田 笙子（高校Ⅲ年）

北京の高校生にはたじたじとなった。英語を流暢に話し、李白や杜甫の漢詩を英訳して朗読などもする。また、コンピューターを駆使して数学等の研究に打ち込み、今度科学技術の祭典にも参加するらしい。豪州で見た中学校の、趣味を生かして自由に楽しく学ぼう！みたいなスタンスとはおよそ異なった、おそろしく勉強熱心な雰囲気だった。

中国には世界に誇れる歴史的背景と経済力がある。それはこの研修で見て、体験したことからもわかる明白な事実である。意欲的な学生たちは今後世界で活躍する優秀な人材となるのだろう。ガイドの方もやはりそれらのことを詳しく説明してくれた。だが、彼が説明してくれなかったこともある。天安門の後に歩いた路上で、楽器を吹き鳴らしていた貧しい身なりの人たちの存在。彼らの中には子連れの人や、妻と思しき人に付き添われて車の窓を一台一台叩いて歩く人もいた。中国ではその日暮らしの生活を送る人も沢山いると聞く。彼らの存在を知らずしては、この研修が、たとえ有意義なものであったにしろ、あくまで中国の一面をチラッと覗いて帰って来たに過ぎないのではないか、と僕は思う。

長谷川 駿（高校Ⅲ年）

いろいろアカシア情報

◆44回生 同期会

9月26日(月)18時～京都東急ホテル
午前中は希望者のみゴルフ
27日(火)午前中は西本願寺と京都御所のバス観光
お問合せ：山本瑤子まで

◆アカシア49

10月23日(日)・24日(月)に
大津プリンスホテルにて同期会
お問合せ：佐々木義孝まで

◆51回生 卒業50周年記念同期会

平成23年10月21日(金)18時～
ANAクラウンプラザホテル広島にて
翌日の10月22日(土)は小旅行を企画中。
お問合せ：鼻岡甫訓・伊藤秀輔

◆52回生 卒業50周年記念同期会

平成24年4月28日(土)午後1時～、
メルパルク広島にて開催決定！
お問合せ：佐々木昂、中山八信、谷明、
榎並毅、佐々木信隆、他まで

◆54回生 ミニ同期会

10月初旬か11月初旬の土日に岡山での
開催を計画。
お問合せ：鈴木正道まで

◆アカシア60回 還暦祝い同期会

10月1日(土)・2日(日)予定
お問合せ：三島(石嶋)孝次まで

◆66回生 定例会

毎月第2金曜日 ゆるい例会(広島)
(毎年開催の夏の同窓会は震災のため
中止) お問合せ：鈴木俊哉まで

◆67回生 同期会

8月17日(水)午後9時～
ビストロ・エメにて
お問合せ：高橋裕子まで

◆84回生 プチ同期会

平成24年は1月2日(月)毎年開催
お問合せ：永田雄一まで
HP <http://mu-sup.com/acacia/>

◆100回生 同期会

平成24年1月初旬に予定
お問合せ：久留飛寛のまで

◆久米 公氏[旧教員]、

森下 弘氏の二人展(書展)

期間：7月20日(水)～26日(火)
場所：天満屋八丁堀店7階画廊
テーマ：『永懐…時・絆を書く』
久米先生は期間中会場にいらっしやい

ます。昨年、傘寿を祝って初めて書道家として、銀座鳩居堂にて個展をされました。広島でも…という声に応えての開催となります。

23日(土)には書道班同窓会開催。

お問合せ：吉本(酒井)貴水(65回)

◆終生被爆者への思いを持ち続けた藤居平一さん(24回)の生涯についての本「まどうてくれ 藤居平一・被爆者と生きる」(定価1,400円+税)が旬報社(大塚茂樹著)から発売されました。書店にてお買い求めください。



◆旭化成(株)様より

「山口信夫追悼集」(14頁ライブラリー参照)200冊を、武田祐三氏(44回)より著書「しょうばろ～歴史と文学の町を歩く」をご寄贈いただきました。ご希望の方はアカシア会事務局までご連絡ください。TEL082-253-5581

上記は5月初旬に幹事のみなさまより同期会の予定をお知らせいただいたものです。詳細は各学年幹事にお問合せください。
「いろいろアカシア情報」では、同期会・出版・その他、会員の皆様の情報を掲載させていただいております。ぜひこのコーナーをご活用ください。

東京発

東京アカシア会 平成23年度春季総会・懇親会

爽やかに晴れた5月21日(土)、平成23年度春季総会・懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。母校からは、隠善富士夫高等学校副校長先生、壇泉中学校副校長先生、アカシア会から甲斐稔事務局長(63回)、幹事年である80回生が学生時代に担任教師をされていた田中俊弥先生にご来賓としてお越しいたごき、総勢159名の参加者が集いました。

総会の冒頭で、東日本大震災により被災された方々およびご家族の方々に対し、お見舞い申し上げます。的川泰宣東京アカシア会会長(50回)から、「日本は負けない、必ず復興する」とのお話があり、引き続き尾籠裕之事務局長(56回)より、総会案内書の印刷システム刷新によるコスト削減の推進やIT活用による会運営の効率化など、昨年度の決算報告と今後の事業計画についての説明がありました。

続いて、この半年間に亡くなられた13名の方のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。



今年度新入学生のみなさん

ご来賓のご挨拶では、隠善副校長先生から母校の近況をお知らせいただきました。甲斐事務局長からはアカシア会の近況と規約変更に関するお話をいただきました。

その後は、齋藤翁氏(48回)のご発声で乾杯をし、しばし歓談となりました。会場は、会の盛り上げ役であるシニア幹事(64回)や活性化メンバーを中心に、現役学生から大先輩まで、世代を超えた交流で終始にぎやかに時が過ぎました。今年の新入学生(100回、101回)には壇上にあがっていただき、諸先輩から暖かい歓迎の拍手を受けました。恒例となった抽選会では、賀茂鶴酒造様、カルビー様、広島東洋カーブ様、博報堂プロダクツ様、キャスト様、関口果樹園様、バカルディジャパン様、増田正和氏(31回)、大澤郁枝氏(52回)より景品を提供いただきました。また、医療法人健希会あいほらクリニック様より参加者全員分の景品をご提供いただきました。例年に増しまして多くの景品をご提供いただいたこともあり、また、日本酒、お菓子、商品券、漫画など、バラエティーあふれる内容となり、大いに盛り上がりしました。

非常に盛況であった懇親会も、お開きの時間となり、参加者全員が大きな輪になって肩を組み、コールアカシアの方々を中心に、震災で故郷をなくされ大変な思いしておられる方が多い中、日本という故郷を皆で支えあっていきたいという願いを込め



全員で「故郷」校歌 斉唱

「故郷(ふるさと)」を斉唱しました。その後、恒例の校歌斉唱、最後は、これも恒例となった榎本良二氏(69回)の音頭で「フリー・フリー・東北」「フリー・フリー・ア・カ・シ・ア」のエールを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となりました。

その後、80回生が自主企画した二次会にも大勢の方が参加され、旧交そして年次を超えた交流を深めることができたかと思えます。

東京アカシア会活性化委員会では、秋季懇親会のさらなる充実と幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向けて準備を開始しています。今後の東京アカシア会に是非ご注目ください。

5月31日記：石木孝之・大久保重伸(80回)

撮影：兼重政徳(80回)



エールの榎本氏

近畿発

近畿アカシア会 前期総会



会長の米澤啓明氏(43回)、元朝日放送スポーツアナウンサーの黒田昭夫氏(43回)、本総会に初出席され

今年度の前期総会は、6月5日(日)に大阪第一ホテルにて開催した。今回は母校からの来賓として、高校副校長の隠善富士夫先生、中学校副校長の壇泉先生、アカシア会からは事務局長の甲斐稔氏(63回)にご出席いただいた。

総会は二部制となっており、第一部の総会は皇暢子氏(46回)の司会で始まり、堀内重明会長(50回)の開会挨拶、隠善副校長の来賓挨拶に引き続いて前年度決算、今年度の活動報告等の議事が行われた。そして河原邑安氏(34回)の乾杯のご発声により、第二部の懇親会が始まった。第二部は私、川村美貴(97回)が司会を担当した。今回の総会は65名の出席者のうち20名以上が新入生で、かつ全出席者の半数以上が学生であったため、会場には初々しく、フレッシュな雰囲気が満ちた。

懇親会の合間には甲斐アカシア会事務局、壇中学副校長、近畿アカシア会元

た製薬会社マネージャーの勝九浩之氏(63回)、元大阪府議会議員で現在は大学院に通っていらっしゃる徳久義也氏(64回)、本年度より近畿アカシア会に加入となった広島銀行大阪支店の支店長奥田和孝氏(70回)の計7名の方にスピーチをお願いした。スピーチでは各人の私生活の話から高校時代の話、更には現在の政治の話まで幅広い話題が提供された。また、新入生である101回生には壇上に上がってもらい、代表の2名にスピーチをお願いした。井上裕介さん(101回)からは高校での思い出と、今後アカシア会員として附属とのつながりを大切にしていきたいという思い、白川美穂さん(101回)からは今後の大学生活の抱負が述べられた。更に学生有志を代表して上田大樹さん(96回)からは近畿アカシア会運営の学生有志の活動の紹介があった。

今回の初めての会場であったが、ビュッ

フェスタイルの会場には本会開催を歓迎するデコレーション・プレートが飾られており参加者の注目を集めるとともに、デザートコーナーにはチョコレートフォンデュも用意され、とても華やかな雰囲気を醸し出していた。総会の最後には恒例であるアカシアソングの斉唱をし、記念撮影をして閉会とした。

また、会食の途中で皇暢子氏(46回)より広島について記された『広島学』(岩中祥史著/新潮文庫)が紹介された。なんでもカープやおたふクソースの話に加え、アカシア会のことも記載されているとか。ご一読されてはいかがでしょうか。

* 後期総会予定 *

次回総会は11月27日(日)に開催予定です。ここ2年間は後期総会を学生有志が企画、運営しています。今回も世代間での交流をしていただけるような企画を考えております。今からスケジュールに入れて頂き、是非ご参加をご予定ください。

6月10日記 川村 美貴(97回)

前出以外の出席者

(38)香川昇、川本和良、(43)大上威雄、藤井侃二、宮本眞亘、(44)春日幸子、山本瑠子、(45)上野徳恵、(46)見門忠雄、(57)岡國太郎、川上操、森静子、西山由里子、(62)豊島秀郎、(64)田頭史明、(96)権田かほり、向井利太、阿南由香里、(97)三島あい、(98)村中絵美、高上真衣、森石麻紗子、(99)小園永里子、伊藤茉莉、(100)武田めぐみ、増田佳那、金子俊一、丸山能央、(101)橋本純也、松原瑞氣、佐藤宥、藤本浩平、妙見侑祐、奥田千春、水口萌、三宅智子、渡部菜穂子、和泉直道、近藤真司、藤好宏樹、小林恭子、藤川詩織、横山春香、上本晋太郎、清水祐里、荒谷利修、昌子由佳、寶宮真佑、渡辺このみ、村上麻綾

東海発

東海アカシア会・豊葦会 総会



2月13日(日)、恒例の東海アカシア会・豊葦会の総会・懇親会を開催、今年も会場はフランス料理の『白亜館 葵』です。

最高齢の白石千里さん(豊30回)から100回の大学生笹口峻弘さんまで年齢差70年に及ぶ22人が参加、いつもながら歴史を感じます。

総会は、まず東海アカシア会齋藤翁会長(48回)から会長を交代するとのお話があり、役員交代のご紹介がありました。新役員は次の通りです。

- ・会長 : 沖 信一(55回)
- ・監査役 : 坂本利彦(55回)
- ・事務局長 : 佐藤哲郎(78回)
- ・事務局次長: 梶幸一朗(81回)

引続き、ご来賓の全国アカシア会向井恒雄副会長(50回)よりアカシア会各地区

や学校・先生の様子、財政状況などについてお話し頂きました。

そして、いつも写真をお願いしている中村博之監査役(43回、男女共学の第一期)による記念撮影。

続いて吉本幹彦前会長(41回、原爆で焼失前の附中で授業を受けた最後の学年)のご発声で乾杯し閉宴。吉本さん達が制作された卒業60周年の記念誌が回覧されました。

例年にも増して独創性溢れるフレンチに舌鼓を打ち、ワイン・ビールなどを飲みながら、参加者の皆さんから近況報告して頂きました。

いつもお元気な東海豊葦会小田千恵子会長(48回)から、海外旅行先で偶然アカシア会員と会い一緒に校歌を歌ったとのお話があり、続いて小田さんの同級生で



神戸から特別参加された上田靖子さんにご挨拶頂きました。

今年は齋藤さん、小田さん、兼川徹さん、花岡正紀さん、林滋さんという48回常連メンバーに上田さんが加わり、同期6人(写真掲載)で大いに盛り上がっていました。

引続き、青春18キップで西日本を走破中の戸田弘さん(50回)、東京から名古屋へ単身赴任中の高岡義文さん(64回)、この会で先輩を見るのが励みになるという成瀬まり子さん(65回)、東京に異動後もわざわざ駆け付けて下さった富吉賢一さん(72回)、最近翻訳活動を少しお休みしている服部清美さん(72回)、愛知県庁で頑張っている石田充さん(93回)、東京に就職が決った村本孝博さん(95回)、ファミリーなムードの中、次々とバラエティに富んだ話題で、和気あいあいの時が過ぎていきました。

最後に新役員の皆さんから抱負が述べられた後、作曲家の梶幸一朗さんの指揮で校歌・学生歌を合唱し、夏のビアパーティでの再会を祈念して散会しました。

来年も2月に総会を開催しますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生は無料です。

2月14日記 沖 信一(55回)

各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定	地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川 泰宣 (50回)	〒105-0013 東京都港区浜松町1-21-5-5F 株式会社プロセス研究所 尾籠裕之(56回) TEL03-6809-2237 Eメール ogomori@bplab.co.jp	総会と懇親会 5月と11月 次回は 11月5日(土)	広島	向井 恒雄 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日 (原則として)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール pff00360@nifty.com	総会 6月頃と 12月	九州	八木 聖二 (54回)	〒815-0033 福岡市南区大橋3-27-17-704 伊藤哲生(51回) TEL092-552-9300 Eメール 200845hito@com.home.ne.jp	総会 10月頃 次回は 10月29日(土)
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981(FAX兼用) Eメール tetsu@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月頃	東北	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学国際科学 国際高等教育センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール yao@cir.tohoku.ac.jp	未定
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区内山下1-1-13 大本本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は 11月12日(土)	呉	大之木 精二 (43回)	〒737-0079 呉市上平良14-38 殿村 礼子 TEL0823-23-9728	第1回は 8月7日(日)

職域・クラブだより

平成23年度アカシア医会総会



5月28日、広島アンデルセンにて平成23年度アカシア医会総会が開催されました。開会時には湯崎英彦県知事(75回)にご挨拶をいただきました。平成22年度会計報告などを行った後、広島大学病院消化器内科准教授・伊藤公訓先生(72回)より『あなたの胃にもピロリ菌? 知って得する最新情報』をご講演いただきました。ピロリ菌に関する最近の知見を教えてください、講演後に活発な質疑応答をすることができました。懇親会では、中谷一彌先生(45回)に乾杯の音頭をとっていただき、最後に万歳三唱と校歌斉唱で盛会にて終了しました。出席者は51名でした。 6月6日記 吉貴弘佳(77回)

アカシア歯科医会総会開催



去る3月19日(土)ホテルJALシティにおいて、アカシア歯科医会総会が開催されました。45回から98回の会員計26名の皆さんを迎え、和やかな雰囲気の中で幕を閉じることができました。今回は、東日本大震災発生から間もない時期での開催となったため、開会の辞の後、参加者全員で被災者に黙祷をささげ、会場に募金箱を設置し、14,272円の義援金を

を集めることができました。さて、今回のご講演は、島根大学の石橋浩晃先生(71回)にお願いし、一般臨床医のための口腔外科のトピックをお話いただき、明日からでもすぐに取り入れることができる検査方法なども教えていただきました。若い会員にとっては、歯科医師の今後に光を見出すことのできる素晴らしい先輩と映ったことでしょう。

会の最後はもちろんわが母校の校歌を全員で歌い、今後一層の親睦そして研鑽を誓って会を締めくくりました。

3月19日 竹田 茂(70回)記

初勝利！サッカー同好会

東京アカシア会のサッカー同好会が6月18日(土)に試合をしました。当同好会は2006年に復活し、年に1回程度ですが継続して集まっています。場所は京王線仙川駅の第一生命グラウンドで、相手も第一生命です。試合は20分4本です。試合結果は3対1で勝ちました。サッカー同好会を復活して6試合目ですが初勝利です。今回は40代、50代に精鋭が揃い、ボールポゼッション、縦パス、センタリングがうまく行きわくわくするような試合運びをすることができました。1点目はコーナーキックからで、67回田村のコーナーキックが相手から戻されたものを再びゴール前に放り込み、67回船倉が飛び込んだあと流れてきたボールを66回岩崎がヘッドで押し込んだものです。2点目は78回兎玉の中央からの豪快なシュートが左ポストに当たってはいるというワールドカップ並みの得点です。3点目はコーナーキックのこぼれ球を56回高田が押し込みました。

参加者は43回佐藤義時を筆頭に、60代4名、50代8名、40代5名でした。

終わった後は、仙川駅近くの居酒屋で祝勝会を行い、サッカー談議に花を咲かせたことは言うまでもありません。

次回は秋口に行いたいというのが全員希望です。

参加者：(43)佐藤義時、(55)上本憲嗣、(56)

高田豊治、(57)赤松秀樹、森岡繁男、(62)池森俊文、三好誠人、(64)下田純弘、西原祥雅、平田洋司、(66)岩崎裕、(67)田村博仁、船倉洋一、(70)上月健睦、(75)尾崎仁、山崎一樹、(76)藤川勲、(78)児玉義光、
応援者：(43)織田輝明、(54)中山裕登、(55)中道徹、(56)尾籠裕之、(63)遠藤朱砂、(67)山田祐子、(86)津脇めぐみ

文責 尾籠裕之(56回)

同期会だより

40回同期会



梅雨晴れの6月11日夕広島市中心部メルパルクに、同期生15名が参集した。記念撮影後、桐原秀雄幹事の挨拶、川崎市から参加した石原巖君のリードで乾杯し、心楽しい宴が始まった。

40回生は殆どが今年傘寿を迎え、文字通り老人世代の仲間入りとなる。在籍者133名のうち49名が故人となったが、カナダ在住の大堀襄君、イリノイの山田隆治君は今も健在である。

3月の東日本大地震による福島原発の事故に関連し、古川浩君が原爆投下時爆心地から2キロの自宅で被爆し、顔と手に火傷を負った貴重な体験談を語った。医師の檜脇千里君より長生きの秘訣は転倒しないこと。慌てず、急がずゆっくり行動するようアドバイスがあった。最後に全員で校歌、応援歌を力強く歌って散会した。

6月14日記 中山博文

41期会のラストパーティ盛大に!



斉唱した校歌は「をのこ我等」じゃなかった!

満80歳を目前に私たちは卒業60周年を記念して宇品のプリンスホテルで5月15~16日、永き同期会の歩みを心に刻む「有終の美たるラストパーティ」を開いた。むくつけき野郎共だけだった会場に、往年のKHS放送班の美声

女子アナと級友夫人も加わって、参加者46人の全員が俄かに華やぐという「合コン」会場の様相を呈した次第である。修学旅行中の附中・附高両生徒が阿蘇山頂で出会った偶然も、実は両学年幹事による陰謀だったとの秘話も披露されて大爆笑！

2日目「原村めぐり」は66年前、被爆全滅すべき運命から免れた恩義の地「賀茂郡原村地区」への謝恩の旅だった。折から取材に訪れた地元CATV局と毎日新聞のメディアを通じて、決して忘却し得ず決して消えることのない感謝の思いを、地元の方々にお伝えし語り残したいという念願の旅をなし終えた41期会最後の集いであった。

新井俊一郎

アカシア43回「A組喜寿を祝う会」



5月19日、ホテルグランヴィア広島にて「A組喜寿を祝う会」を開催しました。A組は中学の時のクラスで、45名(男子32、女子13;物故者9名)のうち、20名(男子13、女子7)が集まりました。内訳は関東地区から7名、京都から1名、広島地区が12名。参加者全員、順に近況報告や思い出話などをし、東日本大震災に関連した話も出て、心に残る会となりました。前田文之記

アカシア46同期会の報告

前夜祭 4/16(土) 今年のアカシア46同期会の当日を待つばかりだったころ、あの3・11東日本大震災が起こった。自粛も検討されたが開催される事になった。前夜祭は小町の、お魚が美味しい「つづみ」で開かれ13名が集まった。美味しいお魚料理と握り寿司を戴き幸せな一夜を過ごした。



メインイベントのパーティー 4/17(日) 夕方6時開宴(参加者 47名、恩師 3名)

関東、関西、九州方面からの参加者も定刻には揃った。そして今年は久しぶりに三人の先生方(田中昭男先生、岩合一男先生、磯貝英夫先生)もご出席いただき乾杯が終わりスピーチ。お三方とも大変お元気で、若いお姿には驚くばかり。生徒を励まし檄をとばしてください、思わず私たちは背筋をピンとのばしてしまった！なかでも磯貝先生は米寿です…と。司会の古田淳一郎さんの指名で遠来の参加者、久しぶりの方が次々とスピーチをする。松尾康二さんの指揮で校歌に続き「ふるさと」を合唱し、被災した東の地へと思いを馳せた。因みに、「被災者支援募金箱」には5万円近い浄財が集まった。そして翌日 しまなみ海道へ ホテルグランヴィア前8時出発、参加者26名。バス車内での、道中の案内ガイドは田中國重さん。まず千光寺公園をゆるりと散策。生口橋～来島海峡大橋を渡って引き返し、瀬戸田町の魚料理の店「すいぐん丸」で昼食、このバス旅のメイン「平山郁夫美術館」では何と平山画伯の実弟でいらっしゃる館長のご案内を受けて、満ち足りた一日となった。 皇 暢子

52回卒1組 卒業以来49年目のクラス会

2011年4月16日土曜日、岡山駅集合後、日本3名園の一つ後楽園に向う。ボランティアガイドに案内され、園内を散策。まだ桜も残っていたが、真っ白に散り敷かれた花びらの美しさにも驚く。午後は美観地区の散策。その後、午後5時過ぎから料亭「蔵Pura」にてクラス会。料理やお酒に舌鼓を打ち、



参加者16人それぞれの近況報告で夜もふけた。翌17日は直島の地中美術館鑑賞。幸い人も多くなく、快晴で気持ちよく、迷路のような館内を楽しむ。

来年2012年は高校を出て50年になるため、5クラス合同での同期会を2012年4月28日(土)に開催する。同期会は今回が最後になる予定なので、ぜひ出席して欲しい。

(クラス会レポートより抜粋)

第56回生同期会活動報告



同期会予定地Jヴィレッジ;ロビーホールからフィールドを望む

5月14～15日に、同期の高田豊治君が副社長を務める福島県のJヴィレッジで同期会を開催する予定でしたが、大震災と福島原発の事故のため、無期延期を余儀なくされました。

原発周辺からの避難が長引く中、今年度の同期会開催に代えて被災地への募金活動を実施し、同期の有志から54万円の浄財が集まりました。集まったお金は、避難先で活動中の「Jヴィレッジ・スポーツクラブ」(中学生年代のサッカークラブ)の活動資金の補助、ならびに地元双葉郡の町村への義援金として、役立てて戴く事になりました。

Jヴィレッジ営業再開の暁には、同地での同期会開催に再チャレンジしたいと考えています。同期生一同、一刻も早い復興を心から祈っております。

5月18日記 山本 修 (56回)

つばめ交通株式会社

広島市東区牛田本町4丁目5番10号
代表取締役 山内 恭 輔 (64回)
専務取締役 陰 山 秀 明 (63回)
URL http://www.tsubame.co.jp/
メール tsubame@tsubame.co.jp

あたたかく よりそう 笑顔と安心のサービス
株式会社 ウェルネット

代表取締役 菅 富 樹 (75回卒)

〒730-0017 広島市中区鉄砲町5-7
TEL (082)511-2323
FAX (082)511-2324
e-mail: kan@wellnet-web.com
http://www.wellnet-web.com

グループホーム ふかわの家
事業者番号 3470104955
〒739-1751
広島市安佐北区深川5-7-32
TEL (082)842-0066
FAX (082)840-0022

アカシア58 毎年開く同期会in広島



当初、熱海でということ動き始めた今年の同期会でしたが、3.11以降の動きを受けて、広島「う越久」で開催することになりました。5月28日(土)18:30、32名の同期生が集まりました。幹事長の簡単な挨拶に始まり、いつもと変わらぬ、「なんだかんだのワイワイガヤガヤ」と、会は進行し、いつの間にもや2時間の時間を経過していました。二次会は、20数名が場所を「ル・プラティーヌ」に移して、ここでも一次会と変わらぬ雰囲気のままでした。今回も初参加者がいました。これから、まだいるはずの初参加者に期待しています。ここのところたまった憂さを払うことができた仲間もいたと信じて、来年も開催します。 大辻 明記

アカシア65 S君を囲む会



恒例の春合宿を5月28・29日九州旅行で計画しましたが、東日本大震災の被害が甚大な為、急遽延期しました。震災から3ヶ月後の6月11日、石巻で被災した佐藤友治君を囲む会を広島で開催、24名が参加し、本人の生々しい体験を聞かせてもらい、7月の渡米に向けてエールを送るとともに、被災地の早い復興を祈りました。

佐藤友治君を囲む会幹事

66回同期会



久しぶりに同級生で集まろう!と、全国にいる同級生にお知らせしたら。うう~!なんと嬉しい事やら総勢25人が集まり、遠くは山口の萩から日帰りで参加してくれた方、中には新潟や関東から出席できなが皆によろしく!と応援の声もありました。

イベント事でないとなかなか集まらないので、今回は人生初の浪人生活を送っている「寺田稔君を支えるアカシア66回有志の会」の発足をを行うという名目です。アカシア会に国会議員経験者は数多くおられますが、我が同級生の寺田稔君もその一人です。しかし、前回の選挙で落選し人生初の浪人生活を送っています。彼は、小中高と席を同じくした友ですが、東大卒業後、大蔵・財務・内閣府と官僚の道を駆け上った後、国政に場を替え防衛大臣政務官まで務めました。

そんな浪人生に同級生の中から「応援しょ~やあ!」という声が芽生え、アカシア魂が燃え上がって3月24日に「寺田稔君を支えるアカシア66回有志の会」の発足をを行いました。

東日本大震災という国難の時だからこそ、同じ釜の飯を食った仲間が日本を良くするため汗をかく決意です、皆で応援しょ~やあ!とエールを締めくくりました。 5月31日記 木本芳弘

80回 恩師 原田先生を囲む小宴

母校を巣立って早21年。この度、原田良三先生が3月にご退官されることを知り、3/5(土)広島市内で小宴を開催。当日は10名のクラスメイトが集ま



り、昔話や皆の近況、附属の今、そして先生のこれからについて、大いに語られました。先生の変わらぬご様子に接し、私たちの方がむしろたくさんのエネルギーをいただきました。また、修学旅行の裏話等を通じて、先生の深い愛情を改めて知ることとなり、先生の教え子でいられたことへの感謝の思いが込み上げてきました。先生のまだまだ長いこれからの第二の人生でのご活躍を心から祈念しています。

3月8日記 堀口悟史

99回生成人式記念同期会



去る1月9日、翌日に成人式を控えたこの日に卒業以来初となる学年での同窓会を開催しました。147名の同期と11名の先生方の参加があり、会は大盛況。元1組担任の山下勝也先生の乾杯に始まって、会場のあちこちで久々の再会となった恩師や、外見は変わったようでも中身は当時のままの友人たちとの話に花が咲いていました。2時間の宴は瞬く間に過ぎ、最後は皆で肩を組んで校歌を斉唱。その後はクラスごとにわかれて二次会へと向かいました。 4月1日記 古本政博

創業50年 甘味処

びっくり屋

南区皆実町6-1-9

夏季

アイスモナカ 110円
(あずき・抹茶・バニラ)

冬季

二重焼き 100円
(つぶあん・クリーム)

管弦楽班OB・OG有志 企画

創立110周年記念
オーケストラ演奏会
参加者募集中!!



日時(2015年)・場所・曲目等、これから検討します。アカシア会関係者で参加をご希望の方は、73回 南部世紀夫(s-nambu@nifty.ne.jp)宛ご連絡下さい。定期演奏会のご盛会をお祈りしております。

アカシアライブラリー 寄贈資料の紹介

(2011年1月～6月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

美奈杜しづか(室塚あや子・60回)著
「義経と呼ばれた女—永遠の旅人—」
室塚あや子(60回)著「こちらナイジェ
リア・日本大使館医務室です」

(60) 室塚あや子

DVD 「第17回全国高等学校選抜オー
ケストラフェスタ」 (57) 中村 英
アカシア41期会編 「高校卒業60周年
記念誌 わが昭和史—完結編」

(41) 新井俊一郎

冊子「卒業60周年記念同期会 アカシ
ア41期会」 (44) 武田祐三
武田一雄(武田祐三・44回)著「しよ
うばら」

(58) 織田秀実

清原和子編 「エッセイ広島 第18号」

辻村みよ子(58回)著 「憲法から世界
を診る」 (58) 辻村みよ子



49回生 古稀記念冊子より 2011年10月の東京
での同期会の様子を伝えるページ。

増田博則ほか49回生編 冊子「アカシ
ア49古稀記念 色は変われど」

(49) 倉本戴壽

資料のご提供ありがとうございます。



55回生「Ⅲの5」中表紙より

長崎昭憲ほか55回生編「今また⁵ Ⅲ
の5 藤井千之助先生を追悼して」

(55) 長崎昭憲



旭化成(株)

「山口信夫追悼集」

旭化成株式会社

会報編集委員会

平成23年2月26日(土)アカシア会館
にて会報編集委員会を開催しました。
今回から森川真吾(79回)をメンバーに
迎え、さらに充実した紙面作りを目指
し、活発に議論しました。浩然の気、
探検隊、夜話、リレー、カップル、同
期会だより、クラブOB会だより等引
続き、皆様にご登場いただく予定です
ので、ご協力をお願いします。

また、この委員会に参加されたい方
は、是非、ご連絡下さい。



後列左から佐々木隆雄(57)、森川真吾(79)、中本泰弘(65)、
三隅俊行(66)、寺迫真理枝(77)、大田陽子(74)、岩崎純子(69)

アカシア会会員数(1～101回)

(2010年6月15日現在)(単位:人)

	人数	男性	女性
会員数	15,044	10,268	4,776
現存者	10,992	6,690	4,302
不明	1,146	809	337
物故者	2,906	2,769	137

会報月例版を購読しませんか？

〈会報月例版は年間購読料2,000円〉

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以外
の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談
会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ
紙面作りを目指していますので、ぜひご購読ください。

〈お申込み方法〉

アカシア会にお電話かFAXでご連絡ください。折り返し振込用紙をお
送ります。ホームページからお申し込みいただくこともできます。

訃報

(2011年1月以降判明)

旧教員 定末 誠治様	平成23年1月5日
旧教員 横山 道昭様	平成23年4月27日
22回卒 松島 定様	平成23年1月15日
24回卒 山縣 武博様	平成22年1月13日
28回卒 正岡 千秋様	平成22年8月16日
29回卒 三上 嘉明様	平成21年12月12日
31回卒 加藤 誠蔵様	平成23年2月25日
32回卒 松谷 安明様	平成22年3月30日
34回卒 熊平(相野田)肇様	平成23年5月11日
35回卒 熊田 重敦様	平成22年12月6日
37回卒 氣多 保雄様	平成23年1月27日
38回卒 灰谷 純一郎様	平成22年9月2日
	平石 元彦様 平成20年9月4日
	本岡 幸登様 平成21年12月30日
39回卒 小日向 虔吉様	平成23年1月12日
	智谷 永生様 平成23年3月29日
	古川 能章様 平成23年1月31日
40回卒 石橋 基二様	平成23年6月15日
	井上 幸人様 平成22年7月20日
	今野 二郎様 平成23年2月11日

村越 郁夫様	平成23年3月20日
41回卒 河喜多 能明様	平成23年5月26日
	古谷 正省様 平成23年1月21日
43回卒 川妻(三原)雅子様	平成23年6月2日
	河村 潔様 平成22年4月10日
44回卒 森川 敬様	平成23年4月13日
46回卒 中前(原田)曉美様	平成23年2月8日
	野村 彰功様 平成23年2月21日
47回卒 福泉 榮美様	平成23年4月24日
	角(高橋)純子様 平成23年2月20日
48回卒 長谷川 忠彦様	平成23年3月26日
49回卒 古川(植木)時紀子様	平成23年2月20日
	松浦 博厚様 平成23年12月11日
50回卒 石田 謙一様	平成22年12月4日
51回卒 今村 洋二様	平成18年11月21日
	田淵 英次様 平成17年12月2日
52回卒 那須 靖之様	平成22年12月3日
60回卒 乾(大内)正子様	平成22年10月4日
65回卒 中本 直様	平成23年1月10日
72回卒 柏木 隆志様	平成23年3月2日
80回卒 桑田 和人様	平成23年4月21日
87回卒 沖田 美代子様	平成19年9月5日

謹んでご冥福をお祈りいたします。



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

栗屋幸一(63回)さんからのご紹介



① 梶原 俊毅(86回)
 ② 広島市東区
 ③ 広島大学大学院の学生をしています。学割を使えることに感動しました。広島大学には小学校から研修医、大学院まで合わせると24年お世話になる予定です。人生の大半を広島大学と過ごしています。高校時代はマスケームとゲームセンターにあけくれ、大学も勉強しなかつたので、医学くらいは真面目にやろうと思っています。
 ④ 広島市の肺病診療はこの人の肩にかかっていると、言っても過言ではない。頼れる元上司です。

自己紹介と、次号登場される方をご紹介いただくコーナーです。

出てもうって ええかいのお

会員リレー紹介 52

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

上網まりえ(89回)さんからのご紹介



① 川村(和泉) 有貴(88回)
 ② 広島市南区
 ③ 幼稚園の頃から現在(5月)に結婚しました)まで、ずっと広島に住んでいます。中学からバスケットボール班に所属し、大学まで続けました。体育祭ではマスケームに夢中になり、ほかではできない貴重な経験をさせて頂き、大切な思い出になっています。この附属では大切な友人、先輩、後輩に出会うことができました。
 ④ 部活の先輩であり、仕事の先輩でもある方です。

♡ビバ!アカシアカップル②♡



夫：青木 省三(61回)
 妻：青木三恵子(61回)旧姓：吉長
 1981年3月1日結婚(31年目)
 馴れ初め：高校Ⅱ年Ⅲ年と同じクラス。人生とは・・・生きる意味は・・・と、語り合い歩いて帰ったことも。窓を乗り越え、渡り廊下の屋根に空中庭園を作り、新聞部も硬い記事を書いていた、そんな時代を共に過ごしました。アカシアカップルで思うこと：人生で一番純粋で真摯な若い時とその文化を共有することのかけがえのなさ。そして娘も新幹線通学でアカシアに。
 夫から一言：彼女は波風を立てつつも、いつも明るくストレート勝負！40年以上経っても、いつも附高時代にリセットされます。
 妻から一言：共通するものに支えられ・・・彼の文章と人生？の校正者です。

事務局だより

◆ホームページをリニューアルしました。<http://www.acacia100.net/>にアクセスください。月例会をはじめ、各地域アカシア会や母校の行事予定をカレンダーで確認できるようにしました。住所変更などの事務局への連絡にもご利用いただけます。

◆この夏より始まる母校3号館(中学校校舎)の耐震工事に備え、3号館南側にあった



撤去前、今年5月満開の藤棚

藤棚が撤去されました。藤の木は校庭東端の木立の中に移植されています。この藤の木については、会報8月号の構内

記念碑・記念樹のコーナーにて、いわれなどをご紹介します。母校3号館の耐震工事が始まりましたら、その様子を会報の事務局だよりでお伝えします。

◆広島大学附属中・高等学校体育祭
 9月10日(土)8:50~開催(雨天順延)



昨年度体育祭風景

◆平成22年度購入備品等の報告。5月、卓上裁断機(裁断能力A3、40枚程度)を購入。10月、給湯コーナーにガス給湯器設置。12月、宛名印刷機老朽化のため買い替え(TANAC-DA6130)。1月、アカシア会館の窓にカーテン取り付け。

◆掃除機1台と扇風機2台を、(株)立芝様(向井恒雄様・50回)よりご寄付いただきました。ありがとうございました。

◆運営会費納入のお願い
 卒後30年を経過された方には「運営会費納入のお願い」を同封しています。運営会費1万円を同封の払込票をご利用の上、最寄りのゆうちょ銀行より払込みをお願いいたします。

全国で好評いただくポレスターシリーズ
 販売中の物件はこちらでご確認いただけます。
 ポレスター 検索
 →<http://www.polestar-m.jp>

アカシア会ご紹介キャンペーン実施中
 詳しくは、武田和久(79回)まで TEL.082-272-5474

全国で260棟<16,000戸>を超える実績。

広島県、新たなマンションスタンダードをめざすポレスターシリーズ。7年連続で発売戸数1,000戸超を達成するなど、高い品質と快適な住空間に全国各地で喜びいただいております。

野原博子(77回旧姓久行)
 武田和久(79回)

株式会社 マリモ
 www.marimo-hi.co.jp

6月例会レポート

開会挨拶

向井恒雄 広島アカシア会会長(50回)

報告事項が2つあります。6月7日に学年幹事会を開きました。卒業後30年目の71回生をはじめ各学年に今後の活動への協力を求めました。呉アカシア会が発足し、5月6日に初会合がありました。

「持続可能な社会を目指して」
京都大大学院農学研究科教授
澤山茂樹氏(71回)



私はバイオマスエネルギーの研究をしています。太陽エネルギーを集めた植物などのバイオマスから、微生物を使ってバイオ燃料を生産する研究です。持続可能な社会に少しでも貢献したいとの思いで、2010年産業技術総合研究所から母校の京大に戻りました。研究対象は、微細藻類、糸状菌(カビ)、酵母などの微生物です。

私がこの道を志したのは、高校時代の担任で生物を教えていただいた白神先生との出会いがあります。理系の生徒の多くは物理・化学を選択しますが、私は生物を選びました。先生にかわいがっていただいたのと、生物が好きで生命の神秘を探りたかったのが理由です。実は私が中3の時、父が難病のALS(筋萎縮性側索硬化症)で亡くなりました。英国の宇宙物理学者スティーブン・ホーキング博士と同じ病気です。普通なら医者を目指すところかもしれませんが、天の邪鬼だった私は、いろんな病気の患者を1人ずつ治療するしかない医学に理想の未来像を描けませんでした。「人類が直面するであろう食料危機について考えようと農学部に進学した」と言えば格好良いのですが、学力が伴わず農学部を選んだのかもしれない。

進学後は、水産業に関わる赤潮微生物

物を研究し、大学院を含め9年間を京都で過ごしました。食料問題は実はエネルギー問題であると認識し、就職はつくばの資源や環境に関わる国立研究所(産総研の前身)に決めました。

ところで、石油の採掘可能量はあとどれくらいでしょうか。推定では1兆~3兆バレルと幅は大きいのですが、ピークオイル説では2010年代には今までに採掘したのと同量しかないと考えられています。価格も高騰しており、石油生産はそろそろ頭打ちになるかもしれません。これからは石油に代わるエネルギーが必要です。新エネルギーの1つとしてバイオマス燃料が注目されています。光合成で二酸化炭素(CO₂)を有機物に変換した植物を燃料に使えば、正味のCO₂発生量は増えません。循環型の再生可能エネルギーです。しかし、世界の森林面積約40億ヘクタールに対し人口は約70億人ですから、1人あたりの森林面積は約0.6ヘクタール。サッカーグラウンドより狭く、とても全てのエネルギーをまかないきれません。また、トウモロコシやサトウキビを原料に、ガソリンと混ぜて使うバイオエタノールを作っていますが、食料や飼料との競合が問題となっています。



乾杯の成宮氏(39回)

私が研究しているのは、植物のデンプンや砂糖ではなく、セルロースと呼ばれる細胞壁からバイオエタノールを作る方法です。木材を細かく粉砕し、カビを生産する酵素で分解した後、酵母で発酵させて作ります。広島の特産である酒造りと製法がとても似ています。ただ、植物が成長するには時間がかかります。人口約1億3千万人の日本では、バイオマス燃料の生産が追いつきません。将来の人口減少は日本にとって大変なことですが、再生可能なエネルギーの供給について考えれば、持続可能な社会へ近づくことになるかもしれないと考えています。

6月17日 永井友浩(79回)記



卓話の澤山氏を囲む71回生他のみなさん



呉アカシア会発足の報告をする

中央：大之木精二会長(43回)、

左：堀川重幸副会長(47回)、右：奥村誠哉副会長(49回)

6月例会出席者(敬称略64名)

- (39) 木村淳邦、成宮正敏、(41) 菊地日朗、(43) 大之木精二、(44) 山本正一、(47) 藤井郁子、堀川重幸、(49) 市岡徹哉、奥村誠哉、(50) 井藤壯太郎、向井恒雄、吉中康磨、(51) 土上康弘、茶藤健治、山本 健、(53) 馬場則行、(55) 近森 翠、(57) 天島純子、大田順子、清水さえ子、(63) 甲斐 稔、河本良子、(66) 木本芳弘、寺田 稔、(67) 高橋裕子、(71) 井上正則、大原明子、梶 俊明、河合利美、澤山茂樹、竹井圭子、鳥井原裕子、松本直美、(72) 大下貴子、(73) 有田道典、飯田 通、馬本 勉、澤山智之、武村正則、西原利典、万力久美、森 隆徳、山本康治、(74) 鈴木隆子、(75) 花岡奉憲、(76) 石田 啓、(79) 石田陽子、大田健太郎、大山磨紗美、奥野優子、織田輝樹、佐々木敦紀、武田和久、ターナー仁美、田中聖真、森川真吾、山本訓裕、(85) 今村世津、(86) 河井 猛、川上英里、平岡誠治、水野昌典、(87) 中道加奈子、(95) 天方麻里恵

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造課 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL (082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-12-9
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
喜びの歌 辛きその日も